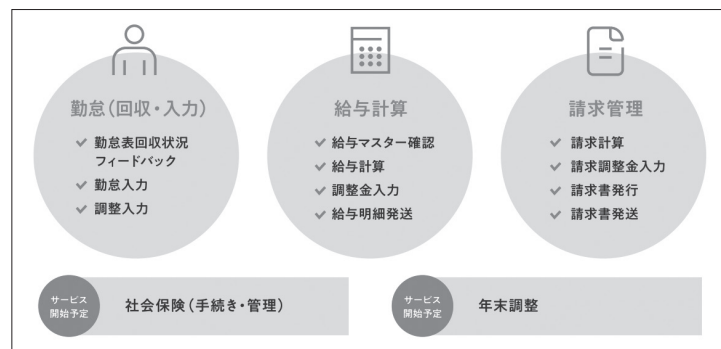


同サービスは2020年11月にサービスイン。同社の主力商品である「人材ビジネス総合支援システムORDIA」のオプションとしてリリースした。最先端のテクノロジーを駆使しているわけではなく同社（グループ会社）のスタッフが事務入力や封入作業を代行するバックオフィスサービスだ。同サービスである代行業務の範囲

高知市高知駅前の龍馬像が見えるビル。  
ここで全国1・5万人分の派遣契約書や給与明細等の発行・発送作業が行われていることはほとんどの人が知らない。そう、昨年紹介した人材派遣BPOサービス「ORDIAアシスタント」の作業現場だ。今回は全国の派遣会社がどのように委託しているのかがポイントする。待機中に同社取締役の吉田大作氏（以下、吉田氏）と一緒に人材派遣BPOサービス「ORDIAアシスタント」のリリースまでの経緯について改めて振り返った。

## 人材派遣BPOサービスの開発の背景と同社の強み



ORDIAアシスタントのサービスの範囲

は勤怠(回収・入力)、給与計算、請求管理の業務代行がメインとなる。  
特筆すべきは人材派遣特有のバックヤード業務を同社が熟知していることだ。  
派遣契約の獲得から初日稼働以降の保守的な事務仕事は同サービスでカバーできるため、人材派遣会社は営業活動やスタッフ募集活動などの収益部門に注力できる。  
吉田氏は「企業のDXが言われ

「派遣契約書発行チーム」、「雇用契約書発行」チーム、「勤怠入力」チーム、「請求書発行」チーム、「契約書類封入」チームといった具合に複数の島がある。月末月初は忙

## 人材派遣BPOサービスの特徴と導入メリット

暫くすると、作業現場に通された。「派遣契約書発行チーム」、「雇用契約書発行」チーム、「勤怠入力」チーム、「請求書発行」チーム、「契約書類封入」チームといった具合に複数の島がある。月末月初は忙

「派遣契約書発行チーム」、「雇用契約書発行」チーム、「勤怠入力」チーム、「請求書発行」チーム、「契約書類封入」チームといった具合に複数の島がある。月末月初は忙

「派遣契約書発行チーム」、「雇用契約書発行」チーム、「勤怠入力」チーム、「請求書発行」チーム、「契約書類封入」チームといった具合に複数の島がある。月末月初は忙

## 注目企業をクローズアップ!O

リリースから1年。

### 人材派遣バックヤードBPOサービス「ORDIAアシスタント」が好評

## With コロナ時代、人材派遣のビジネスモデルはさらにスリムに!コンパクトに! 進化する人材派遣のバックヤードに密着レポート!



吉田大作  
取締役執行役員 兼 株式会社ステラスビジネスサポート代表取締役社長

亀井紫織  
業務部 業務第2課 課長 兼 業務第3課 課長

with コロナを起点に、人材業界は回復基調の大手群と苦戦の続く中小群で大きく明暗が分かれている。中小では売上減に苦しむ人材派遣会社も少なくない中、コストカットも限界まできているようだ。このような背景を受けて、人材ビジネス業界で古くから「人材ビジネス総合支援システムORDIA」を提供しているステラス社は、一昨年から顧客である人材派遣会社向けに勤怠(回収・入力)、給与計算、請求管理のBPOサービス「ORDIAアシスタント」の開発に着手し、昨年11月にリリース。あれから1年、改めて同サービスの開発からリリースの経緯や同サービスの特徴と導入メリットとはどのようなものなのか同社取締役の吉田大作氏に同行し同BPOサービスの作業現場に密着、With コロナ時代の進化した人材派遣のビジネスモデルをレポートする。

前回は取り上げたが同社は人材派遣事務センター構想がある。全国の人材派遣会社のバックヤード業務を同社ですべて集約するというものだ。「ORDIAアシスタント」の普及はそのための第一歩だと位置づけている。同社は「人材ビジネス総合支援システムORDIA」を中心に人材派遣業界で様々な業務管理サポートが実現可能になると考え、直近でリリースした

## Withコロナ時代の人材派遣のビジネスモデル

ズになったとお褒めの言葉を頂きました。リリースから1年が経ち、様々な派遣現場でヒアリングさせて頂き自社内の業務管理体制を強化しました。その結果、ご利用いただいている派遣会社内で営業担当が電話商談しながら事務入力したり、パート社員の入力担当が引継ぎなしで他のパート社員と入れ替わったり、コピーの連続作業中に違う欄に文章が貼り付けられる事が格段に減り、業務品質が向上したのです。またセキュリティ面でも大手レベルの体制で管理されています」

募集の進捗が確認できるといふ。同社のBPOサービスは人材派遣会社にとって100%外注化が可能。派遣会社は営業やスタッフ募集といった収益部門だけに労働力を再配置することが出来る。人材派遣会社はこのBPOサービスと「人材ビジネス総合支援システムORDIA」で内勤社員の管理も合わせて一本化すれば派遣事業

派遣応募者集約システム「ORDIAスタッフプール」(月刊人材ビジネス2020年6月号P40を参照)との連携で応募があったスタッフの受付までを請け負う採用代行応募受付業務もリリース間近だ。複数の求人WEBからエントリーした応募者が登録来店するまで(採否判定しない)のプロセスを受託するイメージだ。様々な属性の求職者がどんなアクションを起こしているのか、共有画面からリアルタイムで進捗確認できることを実現する。

従来のBPOサービスは、受託側のシステムを使って受託業務が終わり結果だけが後からレポートされただけで進捗をリアルタイムで確認できなかった。将来的にはユーザーが使っているシステムを使って代行するのでリアルタイムで

も付け加えておく。このBPOサービスは「人材ビジネス総合支援システムORDIA」のオプションサービスなので導入企業のシステムにログインして入力代行するようなイメージ。イレギュラーで他社のシステムの入力代行をしているが管理画面などのインターフェイスがそれぞれ違っているので入力スピードが遅くなってしまいう上に割高になるため、同社は「人材ビジネス総合支

の業務確認が全てわかる。しかもクラウド上ですべて管理できるから何かあってもデータが守られる。また「人材ビジネス総合支援システムORDIA」も契約書の雛形も法改正のためにキチンと対応しているし、社長と営業要員と「人材ビジネス総合支援システムORDIA」があれば人材派遣が運営できる。

同社の提供するサービスの導入で人材派遣会社の経営体質、業務体質も飛躍的に改善されるだろう。

また、サービスのラインナップには載っていないが、一部の派遣会社では、スタッフの初期登録受付や都度の労働者派遣契約書の作成から発送を引き受けていることも付け加えておく。

援システムORDIA」の導入を問合せ企業に推奨している。

取材を終えて。一般的なBPOサービスではAIやRPAを導入したケースが増えてきている。一般的な事務業務でも9割はRPAで自動処理できるが残りの1割は必ず手作業が必要な工程があるので現状。またAIのOCRも絶対といっていいぐらい算出データの修正作業が必要になるのが現状だ。手作業(入力作業)が100%いらぬというシステムやサービスは現在、世の中にはない。ここを逆手に取った発想がこのBPOサービスが好評たる所以なのかもしれない。



請求書や雇用契約書の封入作業



勤怠データや契約書類の入力作業

FA Xが今でも活躍していることに驚きつつどのような派遣現場で利用されているのか質問した。「全国の派遣現場にはスマホと連動したweb勤怠が使えない派遣先、例えばシニア層の多い派遣先、介護の現場とか、百貨店などの店舗の派遣先などは何も持って入れないため、このようなところは勤怠の管理にとっても困っています。店舗のFA Xから直接、当社に送ってもらい、早速入力作業に入ります。なので『ORDIAアシスタント』は全部、FA Xで受けています。そのFA Xで送られたタイムシートを確認して当社スタッフが手入力します。ここはあえて

アナログにしています。平成から全く変わっていません。(笑)現在、月末までに2万枚のタイムシートのFA Xが月に複数回にわたり弊社に送られてきます。特に経営層のお客様は月次の数字を早く見たいです。翌月初の5営業日以内で請求書発送まで処理します。お客様によっては第一営業日に提出しています。月末・月初は戦場です」と回答。

人材派遣業務において煩雑な事務作業、単純作業はアウトソースする。このBPOサービスを利用して余剰になった労働力はより収益性の高い部署に再分配できるという仕組みだ。現在の人材派遣会

社は対外的にはテレワーク派遣を派遣先に提案し、社内の事務管理部門には分散出勤とかテレワークの推進、会社内でやる事務仕事が減少していく傾向にある。仮にコロナが終息したとしても以前のような事務処理体制には戻らないだろう。

同BPOサービスの利用期間や導入までどれくらいかかるのか吉田氏に聞いた。

「派遣会社の繁閑は各社バラバラです。ご提案の段階でコストパフォーマンスの良い期間を取り決めさせて頂きます。1年のうち年末調整の3カ月だけ利用するお客様がいれば下半期だけ利用するというお客様もございます。また、お問合せから、ヒアリング、お見積、ご利用できるまでは「人材ビジネス総合支援システムORDIA」のユーザーなら2ヶ月もあればご利用できます。従来のBPOサービスは相談を進めると導入までに6ヶ月から1年かかるという話を聞きます。それに比べたらスピーディーな対応だと思います。代行業務の共有画面の確認とメールやFA X対応の段取りを派遣先ごとに決めていき、エラーが出たときの取り決めを作ることぐらいなの

です。スピーディーですね。これも人材派遣業界に特化したシステムベクターを30年以上やっていたノウハウが蓄積されているからだだと思います」

次に「ORDIAアシスタント」導入メリット、導入企業の効果について同氏は力強く語った。「導入企業のお客様から、以前よりもきめ細かいチェック体制になり派遣先との事務確認がスムー

業務		定価
勤怠	TS回収状況チェック	¥300/人
	勤怠入力・調整	¥500/枚
	マスターチェック	¥300/人
給与	計算・調整入力・支払	¥900/人
	発送・データ保管	¥300/通
請求	調整入力	¥300/件
	発行	¥500/件
	発送・データ保管	¥300/通

※給与明細書および請求書発送の価格には、封筒代や郵便料金は含まれません。  
※ボリュームディスカウントあり。

「ORDIAアシスタント」の価格表

この記事のお問い合わせはこちら

**株式会社ステラス**  
HRソリューション事業部  
TEL 0120-502-736  
URL <http://ordia.jp/>

サイト内お問い合わせボタンよりご連絡ください。